

民報あばしり

NO.854
2012.2.12
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F四三二一四四五七

核兵器全面禁止のアピール署名!

原水爆禁止網走協議会は、4日午後から市内スーパー前で毎月第1土曜日



に行っている核兵器全面禁止のアピール署名(6・9行動)を行いました。署名の訴えには、1945年8月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を廃墟に変え、21万の人々の命を奪い、今なお20万を超える被爆者が苦しんでいます。ヒロシマ・ナガサキを繰り返させないもつとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し廃絶することです。2010年5月の核不拡散条約(NPT)再検討会議では、核保有国を含む189の国が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めたと述べています。買い物途中の市民が署名に応えていました。

子育て支援センター

市議会生活福祉委員会は、2月1日市内で2番目の子育て支援センター「どんぐり」が完成したこ

「どんぐり」が完成

とから所管委員会として、視察を行いました。

敷地面積1999.84㎡、建物構造木造平屋建て、建物面積405㎡(子育て支援室128㎡、事務室16㎡、ボランティア兼相談室15㎡、調理室22㎡、遊戯室151㎡、授乳室4㎡、トイレ・その他69㎡)となっていて、面積も広々としていて駒場の支援センターの4倍の広さがあります。

子ども達もお母さん達も開放感があり安心して利用できるのではないかと説明していました。



いよいよ東奔西走

理論政治誌「前衛」に世界選手権三連覇、1984年のロス五輪で金メダルをとり、外国選手に破れる事なく引退した柔道の山下泰裕さんの「スポーツは山

ま社会にどう貢献できるか」のインタビューが載っていました。現在、東海大学副学長・同体育学部長として活躍し、インタビュアのなかでも世界の平和や生涯スポーツを重視する大切さ、スポーツ本来の役割とスポーツマンの行動力等々、縦横無尽に語られています。彼が肝に銘じていることは、「柔道家は柔らの道で培ったものを日常生活、人生に生かしていくこと。強さでは世界一になつたが、それだけでは半分、真の柔道家かどうかは頂点をめざす過程で体得したこと、学んだことを生活や人生に生かし、できて初めて真の柔道家といえる。今の私は、強かつたのは過去で、今、どうなのか、これからどうなのか問われている」とあくまで謙虚でかつ未来に向けて学ぶ姿勢が鮮明です。スポーツ界にも「社会のこと、子どもたちのこと、世の中のことに對して何ができるか、真剣に考える時期」と結んでいました。今後、彼の発言と活躍に期待したいものです。

松浦春樹メモ

野田首相は、「消費税増税」に並々ならぬ決意をしていますが、「消費税増税」は、マニフェストには

なかつた政策です。逆にマニフェストで掲げた「後期高齢者医療制度の廃止」「年金問題」「八ツ場ダム再開」など、重要政策のほとんどは公約とは正反対の政策に変わり、自民党以上に自民党化してしまい、国民の期待を裏切りました。

そんな中で野田内閣と民主党は、消費税を2014年4月から8%に2015年10月から10%にすることを決め今国会に提案するとしています。

今、日本はデフレの状況が続きますが、こんな時に消費税を増税したら日本の景気は益々悪化することは、橋本内閣の3%から5%に引き上げた時の経験からも明らかです。ましてや東日本大震災で被災した人たちは、消費税の負担に耐えられなくなり復興に逆行するのは明らかです。

日本共産党は、消費税増税を許さないため、署名を広く集め阻止するため全力で頑張ります Nam sim fuga.

流水

今日、12日は沖縄県宜野湾市長選挙の投票日です。その沖縄、アメリカ力言いなりの日本を象徴する米軍基地があるところ。なかでも宜野

湾市にある普天間基地は、もしアメリカが自分の国に同じ基地を設置しようとしたら、安全上の問題が多くて法律的に許可にならないという、それだけ危険な軍事基地なのです。日本なら、沖縄ならいいという気がしれません。この米軍基地は、さきの大戦でアメリカがそこに生活している人々を、強制的に収容所に入れその間に土地を奪ってつくったもので「占領下における略奪や私有財産の没収を禁止」した国際法に反してつくられたものです。▼普天間基地はどうか、2010年1月沖縄出身の赤嶺衆議員の国会質問を紹介しよう。「普天間基地がつけられた場所には、民家も役所も郵便局も墓地も黒糖製造所もありました。そのすべてのものを奪ってつくったのが米軍基地であります。生まれながらにして国際法違反の米軍基地によって、戦後65年間県民は耐え難い苦しみを背負わされてきました。戦闘機の墜落、爆音、原野火災、流れ弾、米兵による殺人・暴行などさまざまな被害、生涯忘れられることのできない悲劇を経験...」

▼市長選挙は、政府・防衛庁が基地存続を宜野湾市民に押し付ける権力の画策を弄してまで、激しく闘われています。米軍普天間基地の「閉鎖、返還、県内移設をゆるさない伊波候補の勝利を願わずにはいられない(兎)